



わが国の経済・物価情勢と金融政策

— 和歌山県金融経済懇談会における挨拶 —

2018年2月8日

日本銀行 政策委員会審議委員

鈴木 人司

図表1

海外経済

【IMFによる世界経済見通し(18/1月)】

(実質GDP成長率、前年比、%、%ポイント)

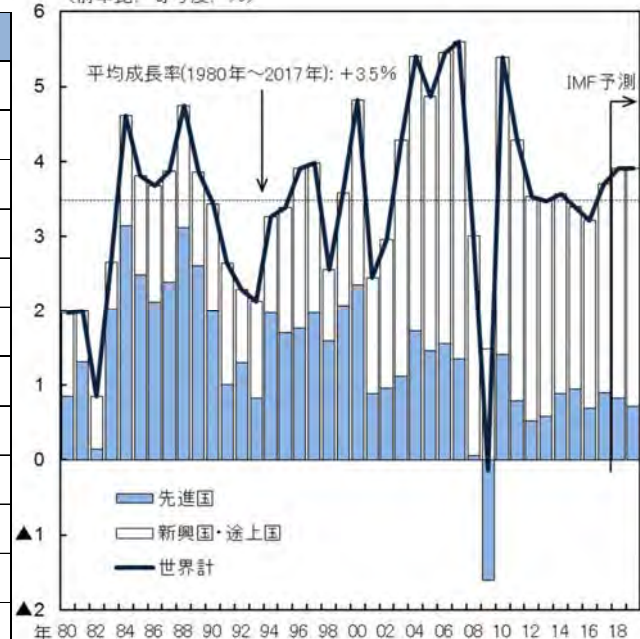
	2016年	2017年 推定値	2018年 見通し	2019年 見通し
世界	3.2	3.7	3.9 (0.2)	3.9 (0.2)
先進国	1.7	2.3	2.3 (0.3)	2.2 (0.4)
米国	1.5	2.3	2.7 (0.4)	2.5 (0.6)
ユーロエリア	1.8	2.4	2.2 (0.3)	2.0 (0.3)
英国	1.9	1.7	1.5 (0.0)	1.5 (-0.1)
日本	0.9	1.8	1.2 (0.5)	0.9 (0.1)
新興国・途上国	4.4	4.7	4.9 (0.0)	5.0 (0.0)
アジア	6.4	6.5	6.5 (0.0)	6.6 (0.1)
中国	6.7	6.8	6.6 (0.1)	6.4 (0.1)
ASEAN	4.9	5.3	5.3 (0.1)	5.3 (0.0)
ロシア	-0.2	1.8	1.7 (0.1)	1.5 (0.0)
ラテンアメリカ	-0.7	1.3	1.9 (0.0)	2.6 (0.2)

(出所)IMF

(注) ()内は2017年10月時点における見通しからの修正幅。

【世界経済の長期推移】

(前年比、寄与度、%)



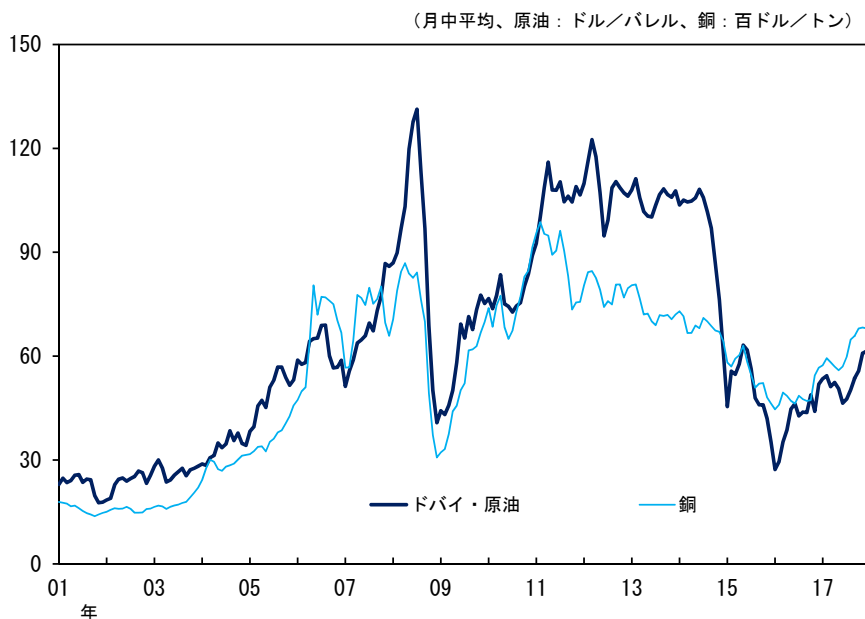
(出所)IMF

(注) 2018年1月時点。IMF公表のGDPウェイト(購買力平価基準)を用いて算出。

図表2

国際商品市況

【原油、銅の価格】

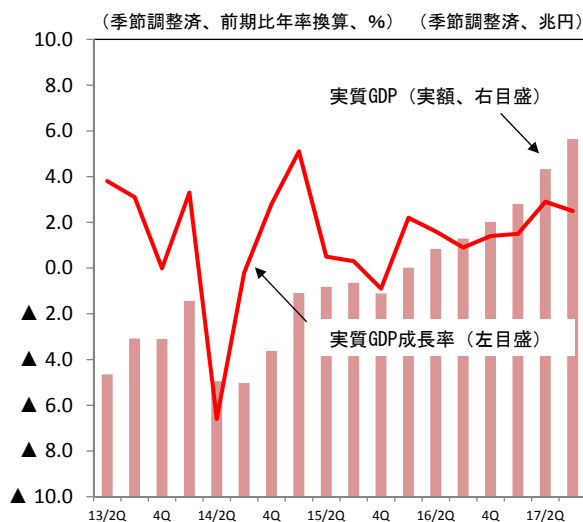


(出所) 日本経済新聞社、Bloomberg

図表3

実質GDP

【実質GDP成長率、実額の推移】



(出所) 内閣府

【実質GDPの内訳】

(季節調整済、前期比、%)

	2016年		2017年		
	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期
実質GDP	0.2	0.3	0.4	0.7	0.6
[前期比年率換算]	[0.9]	[1.4]	[1.5]	[2.9]	[2.5]
消費支出	0.4	0.1	0.4	0.9	-0.5
設備投資	-0.2	1.5	0.2	1.2	1.1
住宅投資	3.0	0.2	0.9	1.3	-1.0
公的需要	0.4	-0.7	0.2	1.1	-0.5
輸出	2.1	3.0	1.9	-0.1	1.5

(出所) 内閣府

図表4

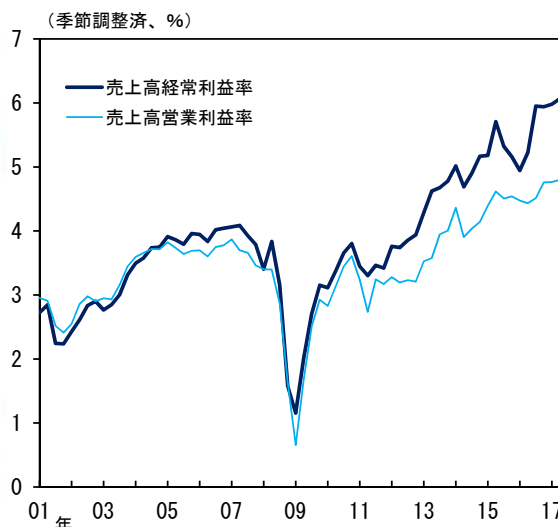
輸出と企業収益

【実質輸出入】



(出所) 日本銀行

【企業収益】



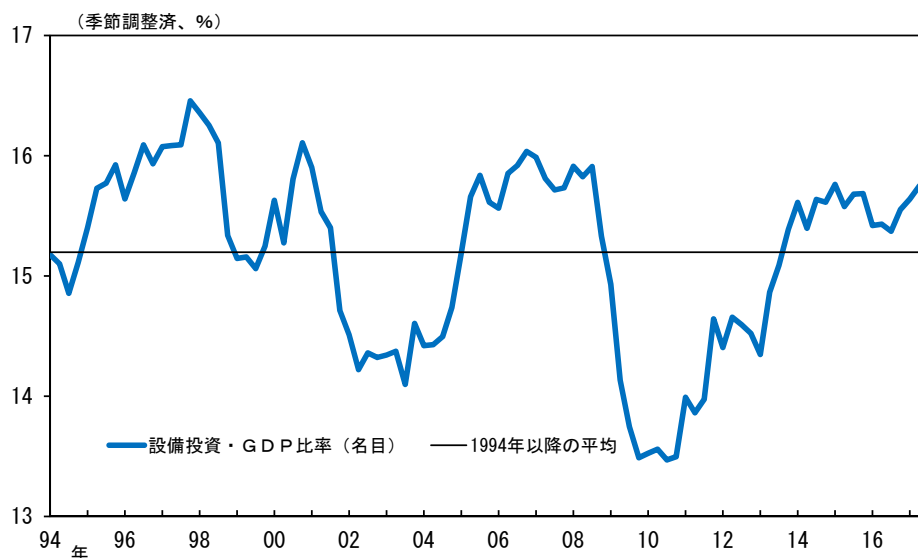
(出所) 財務省

(注) 法人季報ベース。金融業、保険業を除く。

図表5

設備投資

【設備投資(対名目GDP比率)】



(出所) 内閣府

図表6

地域の景気判断

【各地域の景気の総括判断と前回との比較(さくらレポート)】

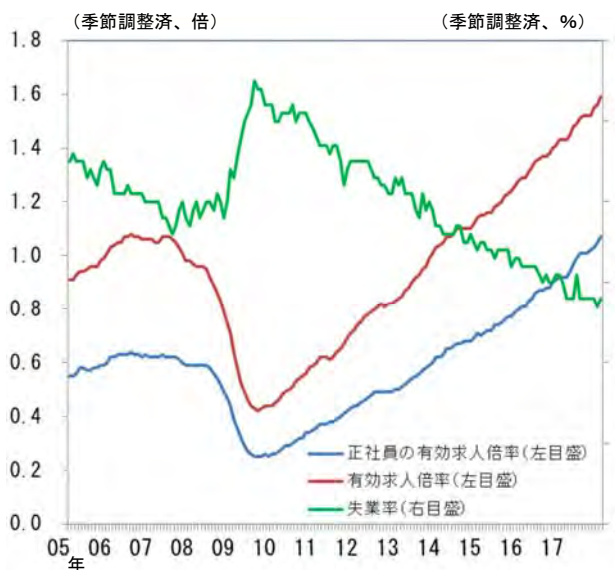
地域	2017年10月判断	前回との比較	2018年1月判断
北海道	回復している	→	回復している
東北	緩やかな回復基調を続けている	↗	緩やかな回復を続けている
北陸	緩やかに拡大している	↗	拡大している
関東 甲信越	緩やかに拡大している	→	緩やかに拡大している
東海	拡大している	→	拡大している
近畿	緩やかに拡大している	↗	足取りをより確かなものとしつつ、緩やかに拡大している
中国	緩やかに拡大している	→	緩やかに拡大している
四国	緩やかな回復を続けている	→	緩やかな回復を続けている
九州・ 沖縄	緩やかに拡大している	→	緩やかに拡大している

(出所) 日本銀行

図表7

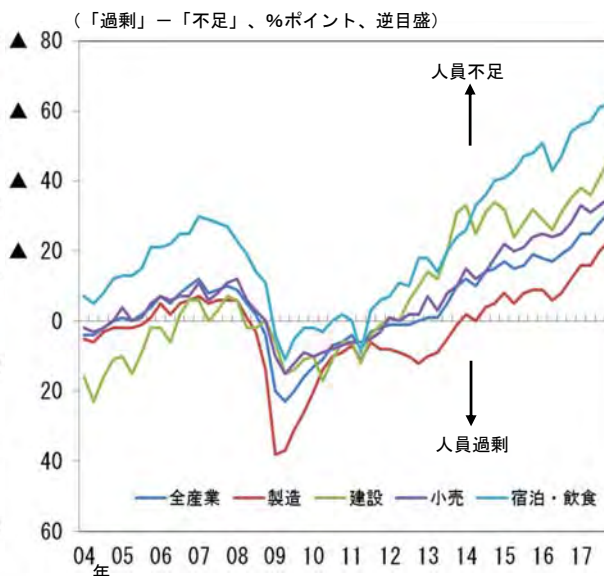
労働環境

【失業率、有効求人倍率】



(出所) 厚生労働省、総務省

【雇用人員判断DI(短観)】



(出所) 日本銀行

展望レポートの経済・物価見通し (2018/1月)

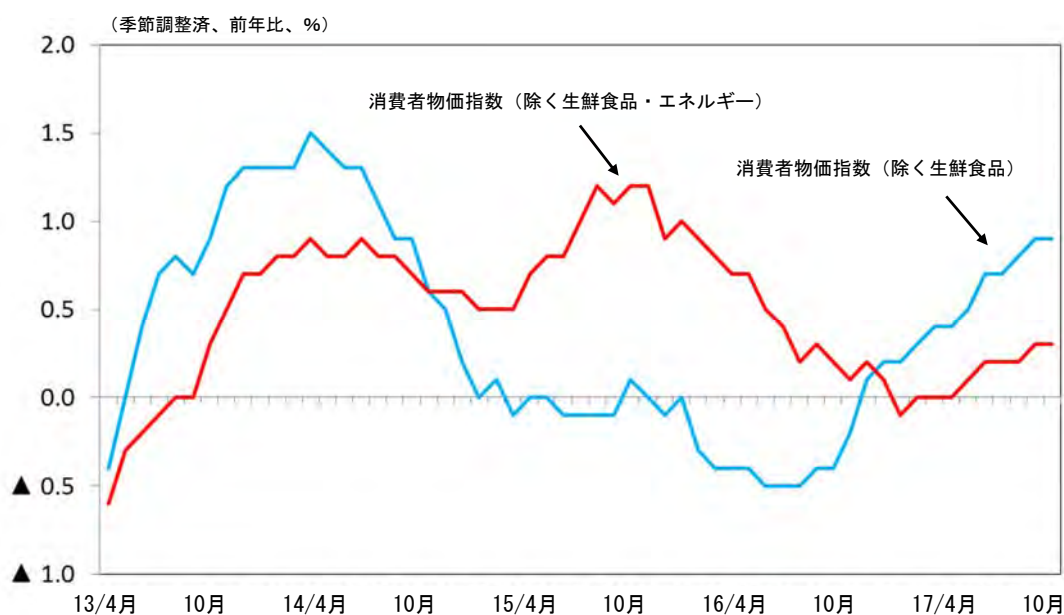
【2017～2019年度の政策委員の大勢見通し】

(対前年度比、%)

	実質GDP	消費者物価指数 (除く生鮮食品)
2017年度	+1.8～+2.0 <+1.9>	+0.7～+1.0 <+0.8>
2017/10月時点の見通し	+1.7～+2.0 <+1.9>	+0.7～+1.0 <+0.8>
2018年度	+1.3～+1.5 <+1.4>	+1.3～+1.6 <+1.4>
2017/10月時点の見通し	+1.2～+1.4 <+1.4>	+1.1～+1.6 <+1.4>
2019年度	+0.7～+0.9 <+0.7>	+1.5～+2.0 <+1.8>
2017/10月時点の見通し	+0.7～+0.8 <+0.7>	+1.5～+2.0 <+1.8>

(出所) 日本銀行
(注) < >内は政策委員見通しの中央値。

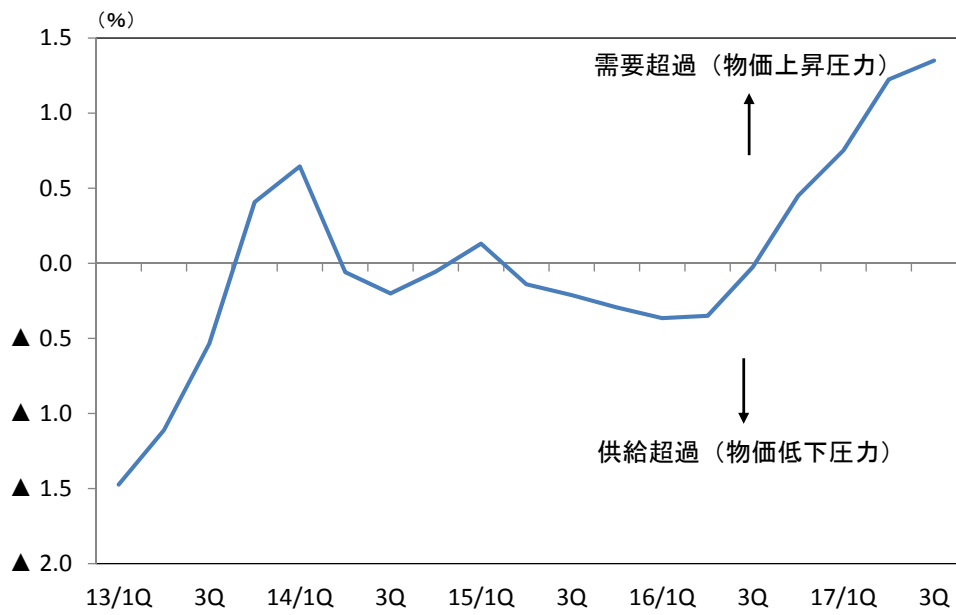
消費者物価指数



(出所) 総務省
(注) 消費増税の影響を除く。

図表10

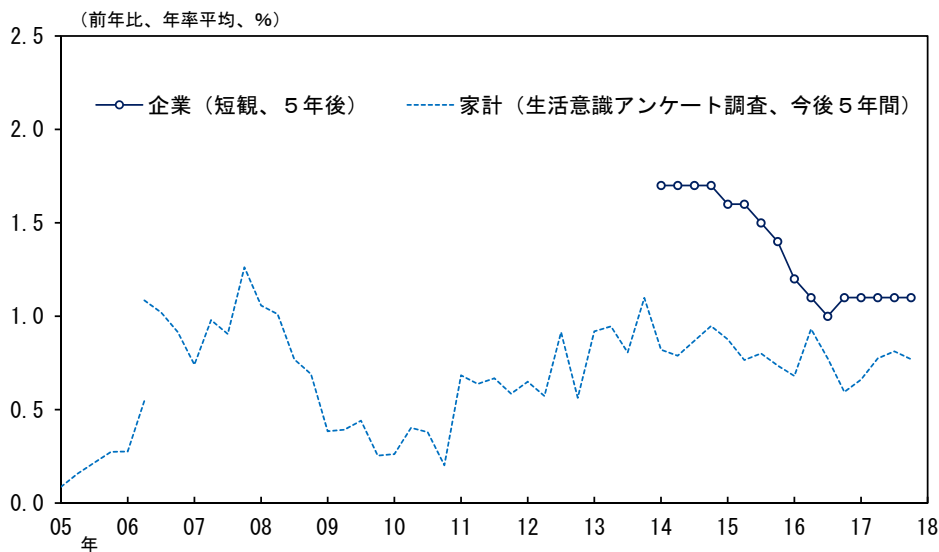
需給ギャップ



(出所) 日本銀行
 (注) 日本銀行スタッフによる推計値。

図表11

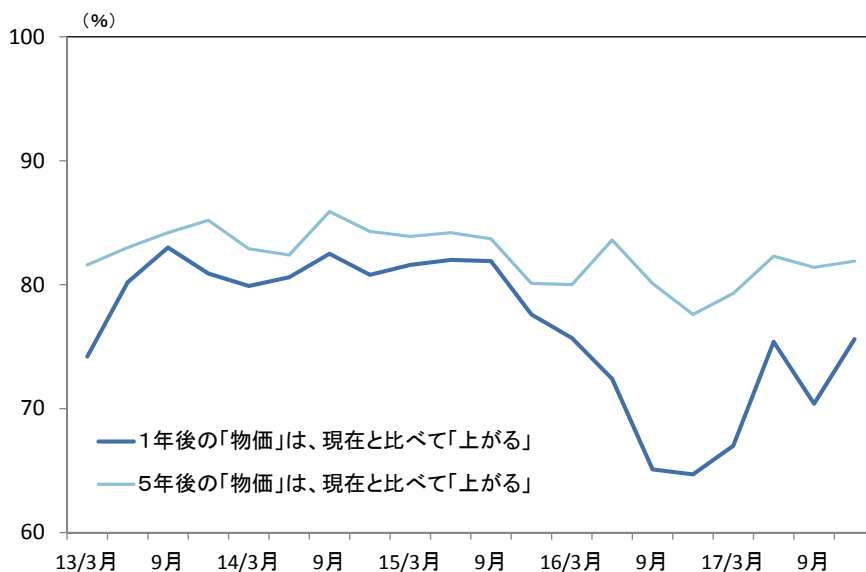
予想物価上昇率



(出所) 日本銀行
 (注) 家計は、修正カールソン・パーキン法による。
 企業は、全産業全規模ベースの物価全般の見通し (平均値)。

物価に対する見方

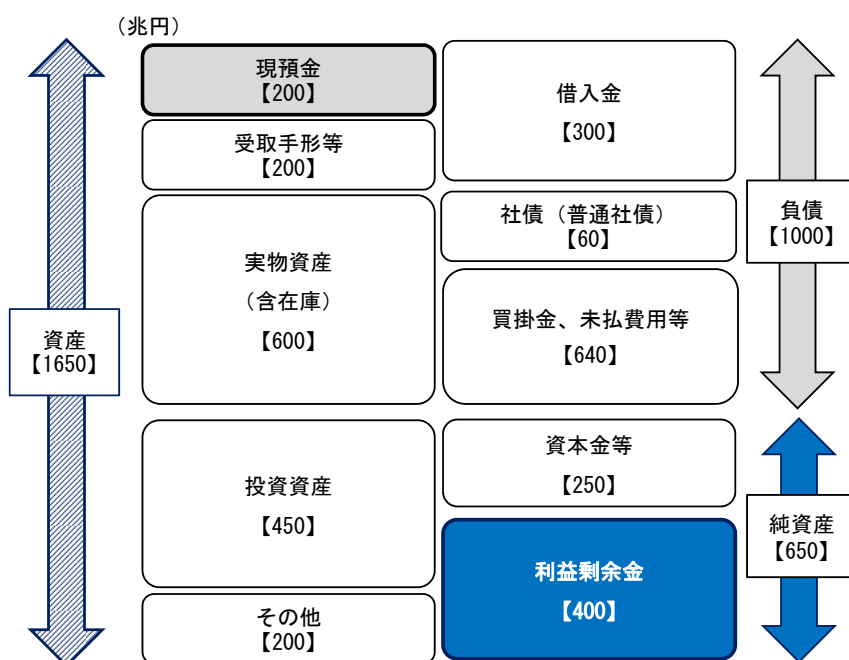
【「生活意識に関するアンケート調査」結果（2017/12月）】



(出所) 日本銀行

(注) アンケート回答者のうち、1年後、5年後のそれぞれについて「物価」は「かなり上がる」または「少し上がる」と回答した割合。

企業のバランスシート

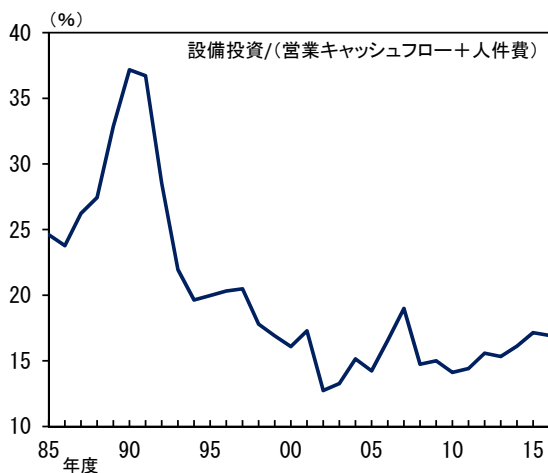


(出所) 財務省、日本銀行、日本証券業協会

(注) 計数は、金融業、保険業を除く2016年度末の概算値。

設備投資・人件費比率

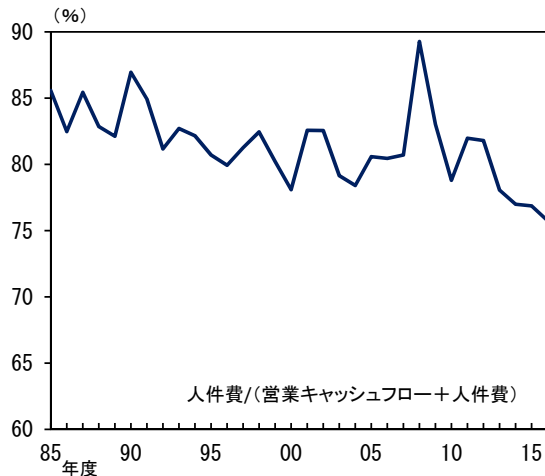
【設備投資比率】



(出所) 財務省

- (注) 1. 営業キャッシュフロー、人件費、設備投資は、法人年報ベース。金融業、保険業を除く。
2. 営業キャッシュフローは、当期純利益－配当金＋減価償却費＋引当金－在庫投資－企業間信用－ネットその他流動資産と定義。
3. 設備投資は、土地投資額を含み、ソフトウェア投資額・研究開発投資額は含まない。

【人件費比率】



(出所) 財務省

- (注) 法人年報ベース。金融業、保険業を除く。
営業キャッシュフローの定義は左記と同じ。

銀行貸出の動向

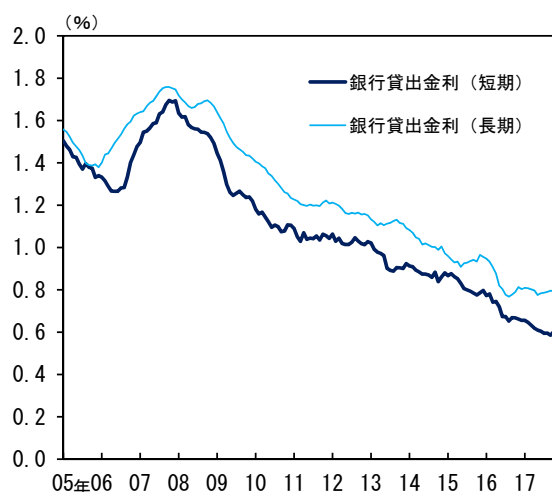
【銀行貸出残高】



(出所) 日本銀行

- (注) 平残前年比。

【貸出金利】



(出所) 日本銀行

- (注) 後方6か月移動平均。